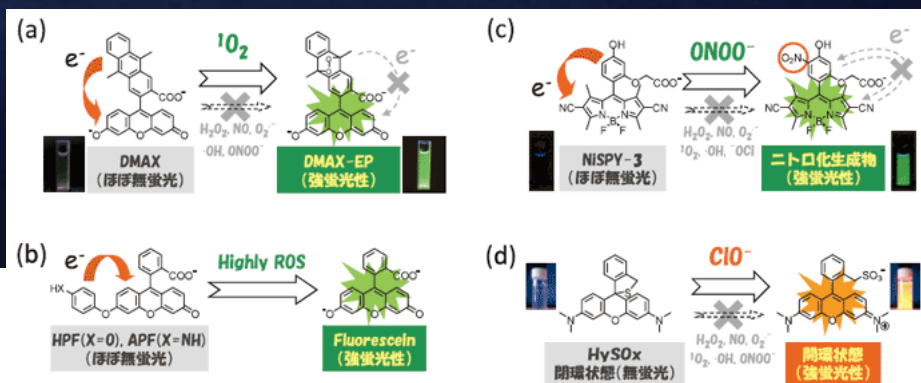


北陸がんプロFD 講演会  
(第16回腫瘍病理セミナー)

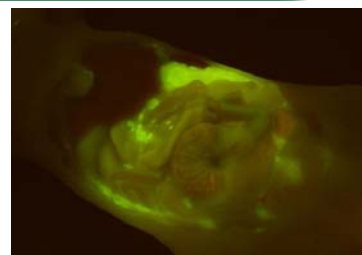
化学プローブを精密にデザインして  
癌を光らせる!

東京大学大学院医学系研究科 生体情報学分野  
神谷 真子 助教



2008年東京大学大学院薬学系研究科博士課程終了(薬学博士)。  
2008年スイス連邦工科大学ローザンヌ校 博士研究員を経て、  
2010年より現職。JST さきがけ研究員兼任。第2回(2007年度)  
ロレアル・ユネスコ女性科学者 日本奨励賞 受賞。

蛍光物質には、大きく分けて蛋白質から成るものと分子量の小さい化合物から成るものがあります。神谷博士は、オリジナルな蛍光プローブ設計法を元に後者の開発に努めてきました。この技術で、生体内で特異的に極めて高感度に癌細胞を光らせることが可能になり、癌の術中診断に用い、微小癌の発見や、取り残しの防止などに役立てることが出来ます。



マウス腹腔内で、  
スプレーしただけで癌細胞が光る。

2月10日(火) 17時30分から  
金沢医科大学 医学教育棟 5階 E51 講義室

主催: 病理学I 清川 kiyokawa@kanazawa-med.ac.jp 内線 3611